



お産&子育てサポート

発行・編集
お産&子育てを支える会
代表 齊藤 智 孝
編集者 東 直 美
TEL/FAX 090-7103-2240



新年明けましておめでとうございます。
今年も「お産&子育てを支える会 ニュースレター」
をよろしくお願ひ致します。



主体的な妊娠・出産・子育てのためには・・・ 「教育が人を育て、国を支える」

工藤勇一先生の話聞いて



私たち助産師が関わるお母さん達の未熟さがここ十数年気になっています。3ヶ月でも5ヶ月になっても授乳クッションを使い続けている、母乳が出ていても寝かせつけは抱っこ、自分の指や袖をちゅぱちゅぱ吸っている赤ちゃんに使う哺乳瓶をいつまでもミルトン消毒と、不要なことをいつまでも続けているお母さんが増えています。少し説明すると「そうか」と解ってくれますが、自分で考え工夫するのが苦手なようです。

今日、産後にうつやメンタルに問題を抱える方が増えてきたり、少子化が改善しない、虐待やいじめ、不登校、引きこもりと乳幼児期から子ども、そして成人に至るまで一連の社会問題が増えています。

現在の日本の状況



先日、教育者の工藤勇一先生のお話を聞きました。2000年頃までは人口増加が著しく、経済成長も世界の中でトップを走っていた日本が、少子高齢化、人口減少が進み、それによる国内需要が減少、経済活動が低迷し、世界の中でも競争力を失い、1ドル110円前後だったのが今や1ドル140円代と円安になってしまいました。将来の日本を牽引する人材を育てている大学も世界ランキング20位にはなく、中国やインドが入ってきています。かつては経済大国とまで言われた日本ですが、どうしてなのでしょう？人口が減少していくことは今や避けられません。昨年度の出生数は80万人を割っています。国内消費は益々悪くなるでしょう。しかも、引きこもりや精神的ダメージで働けない人や失業者等の経済的困窮者は年々増えて納税者が減少する一方で、社会が支えなければならぬ高齢者は益々増加します。

ヨーロッパの国々の消費税と教育

日本のように少子化で人口が増えない先進国は珍しくありません。EU諸国がそうですが日本との違いは2つあるそうです。



まずは、消費税です。25~30%と非常に高額です。納税者の減少を補うのに消費税の高額は仕方ないのかもしれませんが、国民が納めた税が有

効に国民に還元されており、教育は大学まで無償、老後も補償されています。そんな国の国民は貯蓄の概念は少ないそうです。子どもを授かっても教育にお金がかからず、老後に備えて貯蓄する必要はないのですから。そうなれば国民は消費活動に躊躇することなく、国の経済に還元されるようにもなります。日本は教育にもお金がかかり、老後も心配です。国民の金融資産(預金や株式、保険)は今年6月時点で2115兆円あり、国の借金が一昨年6月末時点で1255兆1932億円と資産の方が上回っています。国に頼れない国民は消費を控え、貯蓄して備えるしかないのですね。数字上日本は豊かな国になんですが・・・



そして、もう一つは教育です。デンマークやオランダには「不登校」という概念が無いそうです。教育内容が異なる学校が多々あり、在学中の学校に適応できなければ自分に合う学校に変わることができ、学校を選べるのです。日本も多少は学校を選べますが、どの学校も国が決めた教育内容は同じです。子どもたちの多様化が詳しく解ってきている現代において、その多様化への対応は必要だと思いますが、それさえ遅れています。終戦後に民主主義を基本に教育改革は行われましたが、考える教育より、覚える記憶重視の詰め込み教育でした。一握りの国を動かす優秀な人材を育てると言うのが大きな目的だったとか・・・その教育のあり方に工藤氏は問題があると言っています。現代の日本の子どもたちは幸福度・自己肯定感・当事者意識は世界と比べると非常に低位です。悲しくなるぐらいです。グローバル時代にそんな子どもたちが成人して世界の中でやっていけるのでしょうか？日本の経済を支える人材が今の教育で育つのかと危惧する方もいます。



日本の親は教育熱心です。塾に通わせ、学校では補習してもらい、韓国ほどではありませんが良い大学に入れるよう手助けします。しかも、それは幼少期から始まっています。教育だけでなくあらゆる物が与えられ、与えられるのが当たり前の中で育っていきます。サービス満点の中で育った子どもは結果としてつまずいたり失敗した時に他者に責任を転嫁してしまう傾向





があるそうです。「自分で選び、努力して事を成し遂げること」で自己肯定感や幸福度は上がると言われていますが、日本では「褒めて褒めて、自己肯定感を高めましょう」と認識されている方が多いのではないのでしょうか？幼少期には色々な事ができるようになり、褒めることが多々ありますが、小学校になればよほど優秀でなければ褒めることは減ります。テストで良い点数を取ったときしか褒められなくなるでしょう。「褒められることに慣れた子どもは、褒められなくなった時に褒められるように嘘をつくようになる。」と心理学の講義で聞いたことがあります。「他者に責任転嫁したり、嘘をつく」事は人間関係を乱し、学級崩壊やいじめの原因になっているのかもしれない。つまり、このままの子育てや教育ではグローバル化した世界に立ち向かう人材は育ちにくいですし、日本の未来は暗いように思います。



欧米は子どもの主体性を失わせない教育をしています。日本は教育をすることで主体性は後から付いてくると言う考えです。しかし、世界の中で幸せ度が低く、自己肯定感も低く、当事者意識も低いのはやはり現在の教育のあり方を見直す必要があるのではないのでしょうか？

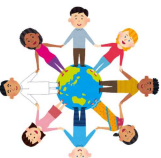


フィンランドは教育で国を変えた

北欧のフィンランドは長い歴史を内外の戦争に明け暮れ王政から共和制に変わった時に、資源も乏しく、一年の半分以上は白夜と自然環境も厳しい国をどうしていくか？を皆で話し合い、教育の大変革を行い、人を育てたそうです。「子ども自身が何を、どう学ぶかを選んでいく」「自分の学びを自分で確立する」「子どもの主体性を育てる」教育を行ったそうです。その教育が実を結び、「人口は少なく経済規模は小さいが、一人当たり GDP などを見ると、豊かで自由な民主主義国、そして、競争力が高く、かつ市民が生活に満足している国のひとつである。」とされています。



日本は与えすぎ、ルールを引きすぎ、はみ出せない教育をしているように思います。それは幼稚園や保育園に通う幼児期から始まっていると工藤先生は言われます。「自分たち(自分)で何とかしよう」と主体性を抱く子どもたちが育つでしょうか？元々日本は島国で国内で争いはあっても他国から侵略されたことは第2次世界大戦しか有りません。仲良しこよしでないとなりが海ですから逃げ場がありません。故に「出る釘は打たれる」のことわざのように同調圧力が自然と行き渡ってしまいがちなところがあります。しかし、時代はグローバル化し、世界で生き抜く力を子育てや教育で育てないと行けないように思います。



子どもの主体性を育てる第一歩

トラブルを抱えた子どもに「どうした?」「そう

したい?」そして、「何をサポートしてほしい?」「何をサポートしてほしい?」と聞いてみると工藤先生は言われています。助けてもらうことや、大人に解決してもらうことが当たり前になっている子どもたちはその問いかけに最初は驚き戸惑うそうです。しかし、その問いかけを繰り返すと「自分がどうしたいのか。どうすれば良いのか」を考えるようになるそうです。子育て中のお母さんは試してみてください。子育ての最終目標は「子の自立」ですが、自立のために「どうやって親が手を離していくか」とも言われています。「どうした?」「そうしたい?」そして、「何をサポートしてほしい?」はその第一歩だと思います。そのような子育てや教育を受けて育った子どもたちが親になったときには、自分で解決する力を持ち、授乳クッションをいつまでも使うことなく、赤ちゃんの寝かせ付けに困り果てることなく、子育てでうつになるようなことが減るようになるのでは・・・と思います。



・・・工藤勇一氏・・・
山形県、東京都の中学校で教員を経験後、千代田区立麹町中学校校長就任、生徒の自主性を育てるために教育改革を行い教育界から注目されている。著書に「学校の当たり前をやめた」「子どもが生きる力をつけるために親ができること」「最新の脳研究で解った!自立する子の育て方」等多数あり



2024年1月の予定

- 7日(日)8:00 ~ 太郎坊を登る会
- 8日(月)10:30 ~ ベビーマッサージ
- 9日(火)10:30 ~ マミーハウス
- 10:00 ~ 鍼灸の日
- 11日(木)10:30 ~ ぬぬの会
- 12日(金)10:30 ~ こそだてパンザイ
- 13日(土)13:30 ~ しあわせお産相談会
- 16日(火)10:30 ~ セルフ整体トレーニング 産後
- 13:00 ~ セルフ整体トレーニング 産前
- 20日(土)13:30 ~ お産塾「お産のための身体づくり」
- 23日(火)10:30 ~ すっぴんまんぷく会
- 24日(水)10:00 ~ 鍼灸の日
- 27日(土)13:30 ~ 八幡ママパパレッスン(はちはび)



14日(日)14:30~
「性といのちの学習」
講師:齊藤智孝助産師
場所:甲賀市 まる一む2F
甲賀・湖南市母親大会で

18日(月)10:00~13:00
「ごちゃ混ぜチャンプルーな居場所 猿の群れ」
八幡 助産院月の小屋

今年も魅力あるイベントが盛りだくさんです。ご参加下さい

20日(水)10:00~12:00
おうち性教育(親子編)
講師:助産師ユニット
「わかばなし」さん
場所:西の湖すてーしょん

おっぱい塾10:00~
9日(火)はちはび広場
11日(木)八幡ことしん2F
23日(火)水口まる一む
25日(木)安土コミセン
「排泄の話」

